

第4回技術 WG 会議議事録

開催日 : 2024年8月31日 13:30~15:30

Zoomでの開催

出席者 : 小西憲二(埼玉)、家住隆夫(大阪神戸)、森口俊生(四国)、中村勇二(厚木)
窪田健一(三重)、佐野武司(三重)、阿部佳三(三重)、二宗光文(愛知)

議事

1. 講演会及び事例紹介

1) 「情報伝達ツールとその活用」

・小林香苗氏(H8M) 工業会執行役員(組織活性化委員会)

情報伝達ツールを再会ツール、情報提供ツール、コミュニケーションツールの分野で整理し、今世の中で話題になっているツールを紹介。その中で、Linked-in, Facebook, Slack, X, Google-Formなどを実際に画面で操作して使い方の紹介があった

2) 市民活動における SNS ツールの活用事例

・二宗(46M) 技術WGリーダー

市民活動として市民農園事業と野菜販売事業を中心に活動している、その活動全体を3つに分け(運営管理の分野、会員間のコミュニケーションづくり、外部に対しての活動情報の展開)、それぞれに対してのツールと方法を説明。ツールとしては、HP、LINEグループ、Facebookが中心で展開している。

2. 2024年度オンラインイハイブリッドイベント開催による技術関係の状況

(1) 埼玉県連合支部勉強会(7.13)

- ・スピーカーフォンを用いた講演会
- ・部分的に音声がこもったりハウリング気味
- *講演者PCのマイクがオンになっていた可能性あり

(2) 東海連合支部講演会(5.12)

- ・スピーカーフォンを、会場のスピーカーと質問者マイクとして活用
- *マイク On OFFのタイミングのずれで音声が拾えなかったり、ハウリングが発生

(3) 東海連合支部「オンライン交流会」(6.16) 神山ビールより中継

- ・iPhoneとヘッドセットで移動しながらの中継
- ・固定映像と音声は、専用マイクとラジカセで対応
- *Wi-Fiに繋がっているPC、スマホが9台で通信状況が一時悪化
- *複数PCのマイクOFF徹底不足でハウリング発生

【まとめ】

- ・新しい試みも実施されて、いろんなバリエーションの確認ができ、効果的な使い方もわかってきた。
- ・複数台のPCを使用する場合、必要以外のPCマイクのOFF徹底をしないとハウリングが発生しやすいことを再認識した

3. 工業会本部の技術 WG 関係活動状況

(1) HP 改修

- ・「会員の集い」のページを「工業会サロン」と改名し、「支部の枠を超えて活動するグループ」紹介や、新規グループ立ち上、参加者勧誘のためのサイトの追加。「会員からの投稿欄の拡大充実」を主眼に改修が進んでいる。

(2) ビデオライブラリーの制作

- ・事務局が持っていた YouTube チャンネルを会員専用チャンネルに変更して利用
- ・試験的に 2 件アップして、問題点や改良点を確認中

(3) オンライン配信で使用する音響映像機器の配備

- ・必要機材の購入については、24 年度予算として総会で承認を得たので、購入していく。
- ・技術的サポートについては学生での対応を予定

4. 2024 年度テーマ「情報伝達ツール技術習得」の今後の進め方、その他全体意見

- ・9 月の全体会議で皆さんの意見も聞きながら決めていきたい。
- ・Web 配信技術者の養成をどうしていくかが重要
- ・ツールをどのように広めていくか、支部長とのコミュニケーションも大切。
- ・支部長との連携も出来るところからやっていけばよい。
- ・メールより LINE の方が良いのかも。

(文責：ニ宗)